

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【大学】
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	東海大学		
設置区分	私立	学校種	大学
都道府県	東京都	事業期間	令和6年度～令和10年度
申請区分	大学（一般枠）	改組内容	研究科等の設置・増員
事業計画名	東海大学大学院における人間・情報共創社会を担う高度情報人材の育成		

2. 事業概要

生成型AIの著しい発展に象徴されるように、現代はコンピュータとネットワークによって膨大な情報が生成され、それによって人間や社会が大きく影響される。したがって、これからの「人間」と「情報」の関係は、人間が情報を創り使うと共に、情報によって人間の生き方までもが創られてゆくという「共創」が主題となり、これに対応できる人材の育成が急務である。

そこで本学では「人間・情報共創社会を担う高度情報人材の育成」を目的として大学院工学研究科に「情報理工学専攻」を新設する。この、新時代を見据えた専攻設置が本事業の特色である。

本事業では「情報理工学研究概論」なる必修科目により、人間・情報共創社会を担うための考え方を身につけた上で、3領域（情報サイエンス・情報テクノロジー・情報メディア領域）の専門科目で高度な専門知識・技能を修得し、それらを基に「情報理工学研究ゼミナール」を通じて修士論文研究を行う。これらの取組のため各機器の整備はもとより、**ファブラボ、ユーザビリティラボ並びにVR・AI等の演習・研究環境を有する専用ラーニングコモンズスペース等の整備を行う。**

3. 情報系組織

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士	総合理工学研究科総合理工学専攻情報理工学コース	4	4	—	工学関係
		0	0		
	計	4	4	増員数	0
修士	情報通信学研究科情報通信学専攻	30	20	R8減員	工学関係
	工学研究科情報理工学専攻	0	40	R8設置	工学関係
		0	0		
	計	30	60	増員数	30
学士	情報通信学部情報通信学科	240	240	—	工学関係
	情報理工学部情報科学科	100	100	—	工学関係
	情報理工学部コンピュータ応用工学科	100	100	—	工学関係
	情報理工学部情報メディア学科	100	100	—	工学関係
		0	0		
	計	540	540	増員数	0

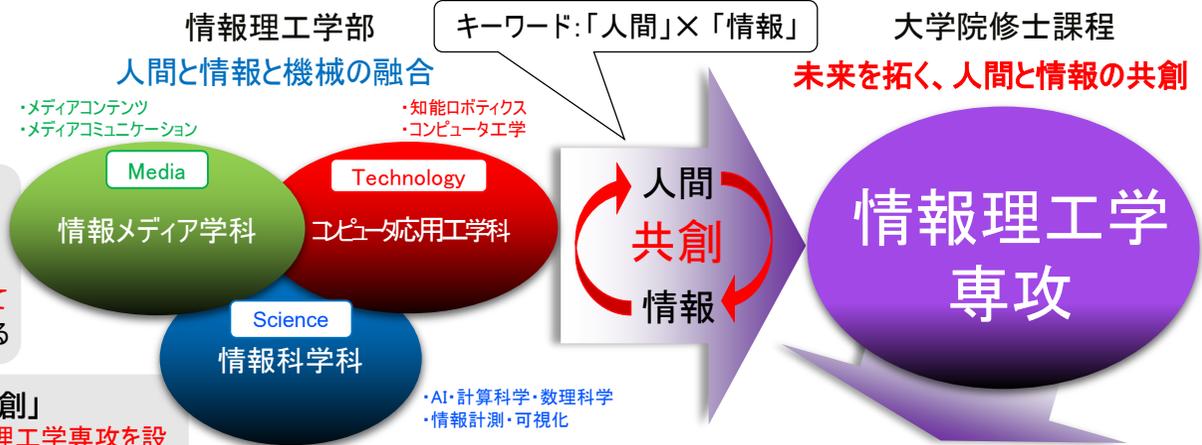
大学全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	博士課程	修士課程	大学院計
増員前 (R6.4.1時点)	3.1%	6.8%	5.7%
増員後	3.1%	13.6%	10.4%
増分	+0.0%	+6.8%	+4.7%

事業計画名 東海大学大学院における人間・情報共創社会を担う高度情報人材の育成

基本情報	
改組内容	研究科等の設置・増員
所在地	神奈川県平塚市
増員する情報系組織名(修士)	工学研究科情報理工学専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	30名(R8)

専攻の設置目的: 人間・情報共創社会を担う高度情報人材の育成



【社会のニーズ・課題】「情報人材79万人不足」だけではない生成型AIの著しい発展に象徴されるように現代は膨大な情報が生成され、それにより人間や社会が大きく影響される。これからの「人間」と「情報」の関係においては、人間が情報を創り使うと共に、情報によって人間の生き方までもが創られてゆくという「共創」が主題となる。この状況に対応できる情報人材が求められている

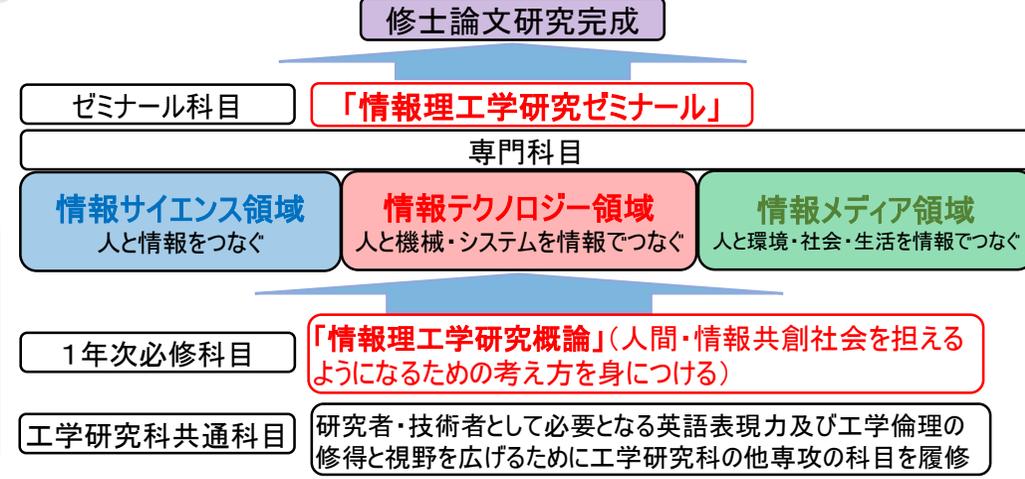
【研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴】「人間と情報の共創」R8年度、情報理工学部を基礎とする専攻として、大学院工学研究科に情報理工学専攻を設置。「人間と情報の共創」をコンセプトとして、人間・情報共創社会を担う高度情報人材を育成

【教育内容・育成する人材像】人間・情報共創を軸としたカリキュラム「情報理工学研究概論」により、人間・情報共創社会を担うための考え方を身につけた上で、専門科目の各領域(情報サイエンス領域、情報テクノロジー領域、情報メディア領域)において高度な専門知識・技能を修得する。それらを基に「情報理工学研究ゼミナール」で修士論文研究を行い、人間・情報共創社会を担うことのできる高度情報人材を育成する

【女子学生・社会人学生・留学生等の確保】女子学生・留学生確保に力点
 ・女子学生に対する大学院進学説明会の定期開催
 →情報理工学部女子学生の大学院進学率30%以上を目指す
 ・社会人に対するリカレント教育のための教育講座の実施、キャリアアップの手段としての大学院進学促進、職・学両立支援のためのホームページの立ち上げを行う
 ・留学生の確保に向け、本学海外協定大学(約100校)を含む海外大学に対する、大学院進学促進DMの送付・ホームページの立ち上げ、留学生の修学・研究、日本人学生との円滑な交流の支援を実施するため、英語を母国語とする専任教員を配置
 →留学生入学者の入学定員10%以上を目指す

【初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携】強固な実績あり
 ・付属高等学校・併設中等部との長年にわたる一貫教育の取組実績を踏まえ、出前授業、模擬授業、研究見学・体験を頻回に実施
 ・タイのKMITL及びKMUTTとの連携実績を踏まえ、学生交流プログラムを実施
 ・神奈川県平塚市、伊勢原市と連携した研究、地元企業との共同研究をさらに強化

「人間・情報共創」を軸としたカリキュラム構成



【本事業計画を達成するための整備計画】
 ・専門科目における演習・修士論文研究のための機器等の整備
 ・専門科目における演習・修士論文研究・各種取組(研究見学・体験、学生交流プログラム等)実施のための、ユーザビリティラボ、ファブラボ、VR・AI等の演習・研究設備を有するラーニングコモンズを備えた専用スペース等の整備